

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 170 号 ■

原水爆禁止2022年世界大会

一刻も早い核兵器のない世界を！

本部 工藤 留美

8月4日(木)から9日(火)まで原水爆禁止2022年世界大会が開催されました。今年は3年ぶりの被爆地広島・長崎で開催され、さらにオンラインも併用して、全国と世界を結ぶ開催になりました。

私は、8月6日(土)ヒロシマデー集会と9日(火)ナガサキデー集会にオンライン参加し、ヒロシマデー集会では諸国政府や内外の反核・平和団体代表、国会議員の方々から発言がありました。特別企画

「被ばく77年被爆地ヒロシマから世界へ」では、「黒い雨」訴訟のたたかいを中心に、核兵器の非人道性を告発しました。最後に政府に核兵器禁止条約への参加などを求める「広島宣言」を採択しました。

ナガサキデー集会では、メキシコ駐日大使や欧米・アジアの平和団体、被爆者と日本国内代表による発言・交流があり、核不拡散条約(NPT)再検討会議の報告も行われました。特別企画では、被爆証言

を当時の生々しい体験が歌と朗読と絵を使って読み上げられました。最後に長崎から、すべての国が核兵器禁止条約へ参加するよう草の根の行動をしていくことの呼びかけがありました。唯一の被爆国として、核兵器使用の惨禍を繰り返してはなりません。日本政府に対して早期に署名、批准することを求めています。

今回の原水爆禁止世界大会では、若い世代の方々

原爆に無頓着になつてしまふことの危機感

ファルマ弘前薬局 薬剤師 田中 理久

8月に原水爆禁止2022年大会が開催されました。私は8月6日(土)のヒロシマデー集会、9日(火)のナガサキデー集会にZOOMで参加しました。

ヒロシマデー集会では、私も参加した国民平和大行進のダイジェストが流れ、青森県以外でもたくさんの方々がおり、原水爆禁止を訴えていることが分かりました。また、実際に原爆を体験した被爆者の方々の話もたくさん聞くことができました。悲惨な戦争を乗り越

えたにも関わらず、被爆者という差別もあったことがわかり、より核兵器の恐ろしさを知りました。ナガサキデー集会では海外の方たちのお話もたくさん聞くことが出来ました。海外の方には比較的若い人も多い印象で、唯一の被爆国である日本には若い人は少ないように感じました。そのため、原爆を体験した世代が生きている今、ここで核兵器を禁止できなければ、今後日本は原爆に無頓着になつてしまふのではないかと危機感も覚えました。



参加者の話に耳を傾ける田中薬剤師

この世界大会に参加して、核や兵器におびえて得ている「平和」は本当の意味での「平和」ではないと強く思いました。今後も、活発に平和活動をしていきたいと思ういい機会となりました。

被爆国としての義務を実感

ファルマ弘前薬局 主任補佐 村上 昌

7月26日(火)平和の波交流集会がZOOMで開催されました。ファルマからは7名参加し、各ZOOM参加数は200を超え、同接がありました。

初めに韓国のグリーン病院院長から、韓国での戦争時の辛い状況のお話があり、次に被爆地広島・長崎からのスピーチがありました。

長崎では核兵器の歴史のお話や、広島では黒い雨プロジェクトという活動を現在行い、被爆地対象以外の場所でも放射能が混じった雨の被害に遭った方が、2015年に控訴し2021年に勝訴を勝ち取ったと報告がありました。

その他全国各地からの平和の取り組み報告があり、議員との面会を行い、賛同してくれるよう呼びかける活動や、医師から

の参加が多く、自らの意思で行動し訴えている姿がありました。77年前の原爆投下で亡くなった人々や今も苦しんでいる方が多くいます。未来ある子どもたちのためにも、一刻も早く核兵器のない世界が訪れるよう努力していかねばならないと感じました。



メモを取り熱心に聴く工藤留美さん



集中して話を聴く弘前薬局の皆さん

今回の集会に参加し、改めて核兵器の歴史を思い返し、核兵器の脅威を忘れずに受け継いでいくことが唯一の被爆国として、とても大切な義務であると改めて感じました。

青森民医連青年ミニジャンボリー

「人権」の大切さを学ぶ

ファルマ弘前薬局 中西 茉季

7月23日(土)、県連ミニジャンボリーが開催され14名の参加でした。

初めに「ジャンボリーとは」から始まり、どんな位置づけがされているかやジャンボリーの活動を紹介してくださいました。

その後、全国ジャンボリーに参加しての感想や意見交換が行われました。最後にオンライン交流でアイスブレイクでは心理テストを行い、ZOOM越しでしたが楽しくできました。

意見交換では、全国ジャ

ンボリーを通して「人権」が大切だと学び、自分自身などのように行動していくかなどの感想ができました。新型コロナウイルスで延期になり遅れての開催になりましたが、参加した方の感想を聞くことが出来てとてもいい勉強になりました。

有意義だった全国の仲間との交流

ファルマ弘前薬局 薬剤師 成田 創

全国青年ジャンボリーからかなり日が空いてからの開催でしたが、全国ジャンボリーのプログラムの振り返り動画などですその時の様子を流してくれたため鮮明に思い出することができました。

また、委員の方々や全国青年ジャンボリーに参加した方々とどういったことをしたか報告し合いました。

6〜8人のセッションで行う交流会の報告では、それぞれ雰囲気は違ってお

りました。他のグループの話し合いの内容を聞くことができた。

ZOOMでの参加でしたがとてもいい経験をさせていただいたと思います。いつかは対面で行えたらいいなと感じました。



参加者の皆さんとZOOMでの様子



これから、行進へ向かいます！



晴天の中、マグロを背負いました

7月31日(日)大間町で開催された「第14回大間原発反対現地集会」に、ファルマからは8名参加しました。

コロナ禍で2020年は中止、2021年はウェブ開催となり、今回は3年ぶりに建設中の大間原発敷地に隣接する共有地で開催されました。

前日にはロックフェステイバルも開かれ、両日で合わせて約250人が参加しました。

集会では、県内の人だけではなく、函館や埼玉などいろいろな地域の方々が参加しました。

参加者の方々による原発や核燃問題についてのリレートークが行われ、原発は未来に残すものではない、早く止めたいという熱いお話を聞き、改めて原発の再稼

働や原発自体なくしていきたいと思いました。

集会後のデモ行進では、強い日差しの中「大間原発は大間違い」のプラカードや横断幕を持ち、ファルマの職員は「原発反対」と書かれたマグロを背負って大間町内を行進し、原発反

「大間原発は大間違い」

ファルマ弘前薬局 乗田 沙緒莉



笑顔で皆さんと体操する中西さん

7月16日は黒石薬局の大川薬局長が「フレイルについての説明、またフレイル予防のための運動」の講義をし、ファルマ弘前薬局の中西さんが健康体操を行いました。24名の参加者からは、薬のウソ・ホントクイズをしたり、体を動かしたりして「楽しかった」などの感想がありました。

写真紹介

認知症について



こちらも楽しみのひとつ

対をアピールしました。3年ぶりの現地開催を通して、原発反対と訴えアピールすることの大切さを感じました。



同期の方とZOOMで話を聴きました

6月28日(火) 7月12日(火)にかけて、民医連道央事業協同組合企画の1年目薬剤師集合研修に参加しました。

研修内容は、「薬の見方」、「代謝・内分泌疾患」、「呼吸器疾患」、「感染症」、「悪性腫瘍」、「循環器疾患」で、合計6講義を受け、臨床における薬の考え方を学びました。

患者様一人ひとりの特徴を捉えて

ファルマ弘前薬局 薬剤師 小野 孝太

研修会では、講師の皆さん全員が各々の専門分野について熱意を持って講義をしてくださり、参加した全日程で有意義な時間を過ごすことができました。

具体的内容としては、代表的疾患の病態・薬物治療についてはもちろんですが、インタビューフォームや論文を見るうえで重要な医療統計学の知識まで、広く多岐に渡って学習及び復習することができました。



役員の方々の話を聴く皆さん

7月20日(水)、先に行われた厚生労働省共同指導報告を、相馬薬局長と工藤事務局長を講師としたスキルアップセミナーにオンラインで参加しました。

特に我々保険薬剤師は、調剤を行う際に患者の服用状況及び服用歴、患者ごとに作成した薬剤服用歴の記録に基づき、処方された薬剤の重複投薬、相互作用、薬物アレルギー、処方箋中に疑わしい点がある時はその処方医に問い合わせ、その疑わしい点を確認しなければなりません。



本部会場の様子

私は最も印象的だったのは今年の調剤報酬改定で加わった特定薬材管理指導料2でした。詳しい内容は割愛しますが、がん患者に対する質の高い医療の提供の評価として2020年改定で新設された加算です。調剤報酬改定に伴い各々が学習してそれを持ち寄り参酌することでより良い医療提供に繋がっていったと思います。

保険薬剤師としてのスキルアップを

藤代薬局 薬剤師 中村 光樹

写真紹介

サプリメントの付き合い方



質問に答えながら話す福井薬剤師

7月14日(木) 千年交流センターにて津軽保健生協南支部主催で出前講座が開催されました。ファルマ弘前薬局の福井薬剤師が「薬の正しい知識、サプリメントの付き合い方」について講義しました。17人の参加者からは、サプリメントや薬と果物の食べ合わせなどの質問があり、「とても役に立った」などの感想がありました。

薬の役割とリスク



体操を教え楽しむ葛西課長補佐

7月23日(土) 野田町会集会所にて野田町会主催で出前講座が開催されました。弘前調剤センターの津川薬局長が「薬の役割とリスク」について講義し、黒石薬局の葛西課長補佐が健康体操を行いました。11人の参加者からは、「丁寧な説明でわかりやすかった」「笑って体を動かせた」などの感想がありました。

くすりの付き合い方



参加者にお話する菅原薬剤師

8月6日(土) 清水交流センターにて、弘前暮らしの保健室主催の出前講座が開催されました。講師が藤代薬局の菅原薬剤師で「高齢者のくすりの付き合い方」について講義しました。コロナの治療薬やかかりつけ薬剤師について分かり、よかったとの感想をいただきました。

12才のわたし

本部 事務長 館田 総子

写真は、旧碓ヶ関村で開催した公民館まつりで演奏中の6年生のわたしです。この楽器は電子オルガンでKAWAIのドリマトーンと言って、この日のために我が家から貸し出した私物なのです。何ごとも飽きっぽい私でしたが4歳から13年間習い続けていました。将来はエレクトーン奏者か教師になりたいという夢も抱いていました。当時の私は「YMO」イエローマジックオーケストラに夢中でした。なかでも坂本龍一に憧れて、美容院でモミアゲをカットした髪型のテクノカットに仕上げてもらいたかったのですが、天然パーマの髪質では思い通りにならず朝の身支度に異常に時間をかけていた小6の頃です。

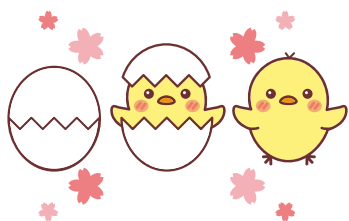
さて、写真当日のお話ですが、村民あげての行事である公民館まつりには大勢のお客様が集まりました。近所の人たちやクラスメイトを前に演奏するのは初めてでした。演奏した曲目は「ライディーン」と「テクノポリス」。YMOの代表曲ですから誰もが知っている。当時の私は思い込んでいました。しかし、客席の高齢の方々のポカーンとした表情を今でも覚えています。音楽教師に会場が盛り上がるからと勧められた「ドラマ太陽にほえろ」のテーマソングを断ってのYMOの曲・・・あの時、時代を先取りしすぎたのか？と思い出しながらかいている40年後の今、YMOを知っている若者も少ないのかしら？！



我が家のエレクトーンで演奏する館田事務長

うまれました

6月16日ファルマ浪岡薬局の高橋薬局長に可愛い女の子（絃音ちゃん）が産まれました。おめでとうございます。



かわいい笑顔の絃音ちゃん

写真紹介

薬局のかしこい使い方

8月10日（水）黒石市東公民館で東ふるさと塾主催の出張出前講座が開催されました。講師は黒石薬局の大川薬局長でテーマが「薬局のかしこい使い方」でした。11名の参加者からは「健康サポート薬局に相談する際の利用料は？」などの質問がありました。当日は骨密度検査などもしました。



大川薬局長の話に耳を傾ける参加者の皆さん

8月26日（金）弘前駅前ちやおられん津軽の会主催の金曜日行動が開催され、ファルマからは21名の職員が弁士となり、地域の方々へ原発や核燃サイクル事業の問題点などについて話しました。

「原発」
「反対！」



街宣で初めてアピールする水木薬剤師



笑顔でアピールしました



参加者の皆さんと通行人へ訴えました



参加者の皆さんと集合写真

東部仲町まつり学習会

8月21日（日）弘前市社会福祉センターで東部仲町まつり出前講座が開催されました。弘前調剤センターの津川薬局長が「薬の本質と製薬会社、そして薬に頼らない生活へ」をテーマに話し、居宅介護支援事業所ファルマの伊勢さんが「介護保険」についてわかりやすく話しました。



5年連続東部仲町まつり出前講座で講義